

令和7年度

編入学学生募集要項

日程等

| 項目 | 月 日 |
|------|--------------------------------|
| 出願期間 | 推薦入試 令和6年5月7日(火)～5月10日(金)(必着) |
| | 一般入試 令和6年5月31日(金)～6月6日(木)(必着) |
| | 社会人特別入試 |
| 試験日 | 推薦入試 令和6年5月20日(月) |
| | 一般入試 令和6年6月17日(月) |
| | 社会人特別入試 |
| 合格発表 | 推薦入試 令和6年6月3日(月) |
| | 一般入試 令和6年7月8日(月) |
| | 社会人特別入試 |
| 入学手続 | 推薦入試 令和6年6月11日(火)～6月14日(金)(必着) |
| | 一般入試 令和6年7月16日(火)～7月22日(月)(必着) |
| | 社会人特別入試 |

秋田大学理工学部

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

入学志願者の個人情報保護について

本学では提出された出願書類から志願者の個人情報を取得し、また、入学試験の実施により受験者の個人情報を取得しますが、これらの個人情報は、下記の目的で利用します。

【利用目的】

- 入学者選抜に関する業務（統計処理などの付随する業務を含む。）に利用します。
- 入学手続完了者にとっては、入学後の学籍管理、学習指導、学生支援関係業務および授業料徴収業務に利用します。

目 次

| | | |
|-----|----------------------------------|----|
| I | 募集コースおよび募集人員 | 1 |
| II | 一般入試（学力検査等による入学者選抜） | 2 |
| | 1. 募集コースおよび募集人員ならびに対応学科 | 2 |
| | 2. 出願資格 | 2 |
| | 3. 出願手続 | 3 |
| | 4. 選抜方法 | 5 |
| | 5. 学力検査および面接試問の日程等 | 6 |
| | 6. 受験上の注意事項 | 7 |
| | 7. 合格者の発表 | 7 |
| | 8. 編入学試験問題の公表について | 7 |
| III | 推薦入試（推薦による入学者選抜） | 8 |
| | 1. 募集コースおよび募集人員ならびに対応学科 | 8 |
| | 2. 出願資格 | 8 |
| | 3. 出願手続 | 8 |
| | 4. 選抜方法 | 10 |
| | 5. 面接試問の日程等 | 10 |
| | 6. 合格者の発表 | 10 |
| | 7. 学力検査の受験 | 10 |
| IV | 社会人特別入試（1年以上勤務経験のある者を対象とした入学者選抜） | 11 |
| | 趣 旨 | 11 |
| | 1. 募集コースおよび募集人員 | 11 |
| | 2. 出願資格 | 11 |
| | 3. 出願手続 | 12 |
| | 4. 選抜方法 | 13 |
| | 5. 面接試問の日程等 | 13 |
| | 6. 合格者の発表 | 14 |
| | 7. 入学後の取り扱いについて | 14 |

| | |
|---------------------------|----|
| V 共通事項 | 15 |
| 1. 配慮を必要とする入学志願者の事前相談について | 15 |
| 2. 感染症に関する注意事項 | 15 |
| 3. 入学手続 | 15 |

| | |
|------------------------------|----|
| 秋田大学理工学部コース案内 | 17 |
| 1. 募集するコースの構成 | 17 |
| 2. 学部および募集するコースのアドミッション・ポリシー | 18 |

添付書類等

1. 編入学志願票（一般入試用，推薦入試用，社会人特別入試用）
2. 受験票・写真票（一般入試，推薦入試，社会人特別入試）
3. 検定料振替払込受付証明書貼付台紙・払込取扱票
4. 調査書
5. 推薦書
6. 志望理由書
7. 業務報告書
8. 受験上および修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談書
9. 宛名票
10. 出願用封筒
11. 受験票等送付用封筒

秋 田 大 学 理 工 学 部

1910年（明治43年）に創立された秋田鉱山専門学校の伝統を引き継ぐ秋田大学工学資源学部は、平成26年度に“理学分野の基礎知識に裏打ちされたモノづくり・コトづくりのできる人材育成”を目的とする秋田大学理工学部生まれ変わり、同時に工学資源学部の資源学の分野は、新学部“国際資源学部”に移り新たに始動しました。

本学部では、高等専門学校・理工科系短期大学・高等学校の専攻科の課程卒業生および大学卒業生、大学中途退学者を対象とする3年次編入学入学者選抜と、企業等に1年以上勤務経験のある社会人を対象とする3年次編入学学生特別入試を実施します。

I 募集コースおよび募集人員

| 学 科 | コ ー ス | 一般入試 | 推薦入試 | 社会人特別入試 |
|--------------------------|-------------------|------|-------|---------|
| 物 質 科 学 科 | 応 用 化 学 コ ー ス | 4 名 | - | 若 干 名 |
| | 材 料 理 工 学 コ ー ス | | 若 干 名 | |
| 数 理 ・ 電 気 電 子 情 報 学 科 | 数 理 科 学 コ ー ス | 4 名 | - | 若 干 名 |
| | 電 気 電 子 工 学 コ ー ス | | 若 干 名 | |
| | 人 間 情 報 工 学 コ ー ス | | - | |
| シ ス テ ム デ ザ イ ン 工 学 科 | 機 械 工 学 コ ー ス | 4 名 | - | 若 干 名 |
| | 土 木 環 境 工 学 コ ー ス | | 若 干 名 | |

合格者の編入学年次は、本学3年次となります。

Ⅱ 一般入試（学力検査等による入学者選抜）

1. 募集コースおよび募集人員ならびに対応学科

| 学 科 | コース | 募集人員 | 3年次編入学対応学科 |
|--------------------------|-----------|------|--|
| 物 質 科 学 科 | 応用化学コース | 4名 | 物質工学科，材料工学科， 工業化学科，化学工学科 およびこれらの関連学科 |
| | 材料理工学コース | | 材料関連学科 |
| 数 理 ・ 電 気 電 子 情 報 学 科 | 数理科学コース | 4名 | 理工系学科，または数理 科学の応用を行う学科（理 系文系は問わない） |
| | 電気電子工学コース | | 電気工学科，電子工学科， 電子制御工学科および これらの関連学科 |
| | 人間情報工学コース | | 情報工学科および関連学科 |
| シ ス テ ム デ ザ イ ン 工 学 科 | 機械工学コース | 4名 | 機械工学科および関連学科 |
| | 土木環境工学コース | | 土木工学科および関連学科 |

- 注) 1. 材料理工学コース志願者，数理科学コース志願者は，令和6年5月24日(金)までに必ず入試課へ問い合わせてください。
2. 材料理工学コース，数理科学コース以外のコースで関連学科と判断し難い場合には，令和6年5月24日(金)までに入試課へ問い合わせてください。
3. 「2. 出願資格」の(5)(6)(7)については，志望コースの関連学科であることを判断する必要がありますので，令和6年5月24日(金)までに入試課へ問い合わせてください。
4. 出身学校において修得した単位の全部，または一部を各コースに設定された授業科目とみなし，卒業要件の単位として認定しますが，認定される単位数によっては2年間で卒業できない場合があります。

2. 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 高等専門学校を卒業した者および令和7年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者および令和7年3月卒業見込みの者
- (3) 大学を卒業した者および令和7年3月卒業見込みの者
- (4) 大学に2年以上在学し，64単位以上を修得した者および令和7年3月修得見込みの者（令和7年3月末に2年以上在学となる者を含む。ただし，本学部在籍中の者は含まない）
- (5) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で，かつ，課程の修了に必要な総授業時数が1,700時間以上であるもの）を修了した者および令和7年3月修了見込みの者（いずれも学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）
- (6) 高等学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすもの）を修了した者および令和7年3月修了見込みの者（いずれも学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）
- (7) 外国において，学校教育における14年の課程を修了した者および令和7年3月修了見

込みの者

※上記の出願資格に関し、外国の学校教育にかかる要件をもとに出願する者は、これまでの在学歴等を事前に確認のうえ、以下に定める出願書類の他、追加で書類提出を求める場合があるので、出願期間前に入試課にお問い合わせください。

3. 出願手続

(1) 出願書類等

| 書 類 等 | 摘 要 |
|---|---|
| ①編入学志願票 | <ul style="list-style-type: none">・本学部所定の〔一般入試用〕志願票に下記により記入してください。・受験番号：記入しないでください。・氏名(ふりがな)：楷書で記入し、ふりがなを付けてください。・生年月日等：生年月日を記入し、男・女いずれかを○で囲んでください。・出願資格：出願資格を記入してください。・志望コース：志望するコースを記入してください。・本人が諸通知を受ける場所 ：合格通知書等を受ける場所を記入してください。・上記以外の連絡先 ：保護者等の住所を記入してください。・履 歴 (学 歴)：高等学校・高等専門学校入学以降について記入してください。 (職 歴)：職歴がある場合は記入してください。 |
| ②受験票・写真票 | 本学部所定の用紙に氏名、志望コースを記入し、写真(正面、上半身、脱帽で出願前3か月以内に撮影したもの)を貼ってください。 |
| ③検 定 料 ・ 検定料振替払込受付 証明書貼付台紙 | 検定料は30,000円です。 本学所定の払込取扱票に志願者本人の氏名その他必要事項を記入し、原則として令和6年5月17日(金)以降出願前までにゆうちょ銀行または郵便局の窓口で振り込んでください。(振込手数料は負担願います) ※ATM(現金自動預け払い機)は使用しないでください。 振込の際に受領する「振替払込受付証明書」を台紙にしっかりと貼ってください。台紙には、氏名、志望コースを記入してください。 出願手続完了後は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しません。 ただし、検定料の払込後に出願しなかった場合は、検定料を返還しますので、原則として令和6年6月7日(金)から6月13日(木)までの間に、経理・調達課出納担当(TEL018-889-2234)に申し出てください。 |
| ④TOEIC® Listening&Reading TestのOfficial Score Certificate (公式認定証) または TOEIC® Listening&Reading IPテストのスコアレポート(個人成績表) | TOEIC® Listening&Reading Testの場合は、TOEICのウェブサイトからダウンロードしたデジタル公式認定証を印刷して提出してください。TOEIC® Listening&Reading IPテストの場合は、スコアレポート(個人成績表)の原本を提出してください。 テスト実施日が、2022年(令和4年)4月1日以降のものを提出してください。なお、デジタル公式認定証が発行されない時期に受験したものについては、従来の紙媒体での公式認定証を提出してください。 出願期間までに提出が間に合わない場合は入試課へお問い合わせください。 受理した書類は、返還しません。また、願書提出後のスコアの追加は認めません。 |

| | |
|-------------------------------|--|
| ⑤調査書 | <p>本学部所定の様式により、在学学（校）長が作成し厳封したもの。</p> <p>出願資格(4)該当者で履修中の科目がある場合は、履修中の科目に関する証明書を添付してください。</p> <p>「成績」および「席次」の欄については、前学年（既卒者の場合は最終学年）における「成績」（例：優，良，可）およびクラス等での「席次」（何人中何位）を記入してください。もし、「成績」および「席次」を算出していない場合は、その理由を記入してください。</p> |
| ⑥卒業（見込）証明書 | <p>出願資格（1）（2）（3）（5）（6）（7）該当者</p> <p>出願資格(5)該当者は専修学校入学前の学校の卒業証明書を提出してください。</p> |
| ⑦在学（期間）証明書 | <p>出願資格(4)該当者</p> <p>なお、在学証明書には入学年月日を記入してください。</p> |
| ⑧専門士取得（見込）証明書 または修了（見込）証明書 | <p>出願資格(5)該当者</p> <p>なお、修了（見込）証明書提出者は、出願資格の専修学校専門課程であることの証明書を添付してください。</p> |
| ⑨高等学校等専攻科修了（見込）証明書 | <p>出願資格(6)該当者</p> <p>修了または修了見込みの高等学校等が発行する、修業年限2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たしていることの証明書を添付してください。</p> |
| ⑩宛 名 票 | <p>本学部所定の用紙に所要事項を記入してください。</p> |
| ⑪受験票等送付用封筒 | <p>本学部所定の封筒に、受信場所（住所、氏名、郵便番号）を明記し、344円分の切手を必ず貼りつけてください。</p> |
| ⑫在留資格が明記された 住民票 | <p>外国人で現に日本に在留している者は、市区町村長が発行する「在留資格が明記された住民票」を提出してください。</p> |

【参考資料】高等学校等専攻科修了（見込）証明書作成例

| |
|--|
| <p>高等学校等専攻科修了証明書</p> <p>秋田大学長 殿</p> <p>本校は、学校教育法第58条の2に規定する高等学校の専攻科であり、下記の者は平成28年文部科学省告示第63号の基準を満たす課程を修了し、大学への編入学資格を有することを証明する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>氏名</p> <p>生年月日</p> <p style="text-align: right;">〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇〇〇高等学校専攻科 学校長 〇〇 〇〇</p> |
|--|

(2) 出願方法等

1) 出願書類等受付期間

令和6年5月31日(金)～6月6日(木)16時まで(必着)

2) 出願方法

出願書類等は一括し、本要項に添付の出願用封筒に入れて、原則として郵送により提出してください。

3) 出願書類等提出先および入試に関する照会先

秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

電話：018-889-2313 E-mail：nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

4) 出願にあたっての留意事項

①出願書類に不備がある場合は、これを受理しません。

②受理した出願書類等の返還および記載事項の変更は認めません。

4. 選抜方法

調査書、学力検査および面接試問の結果を総合して判定します。

◎学力検査実施科目

| 学 科 | コ ー ス | 学 力 検 査 科 目 | |
|--------------------------|-------------------|-------------|----------------------------|
| | | 一般教育科目等 | 専 門 教 育 科 目 |
| 物 質 学 科 | 応 用 化 学 コ ー ス | 英語, 数学 | 面接(履修した専門教育科目の基礎の試問を含む) |
| | 材 料 理 工 学 コ ー ス | 英語, 数学 | 面接(材料理工学専門の試問を含む) |
| 数 理 ・ 電 気 電 子 情 報 学 科 | 数 理 学 科 コ ー ス | 英語, 数学 | 面接(数理科学専門の試問を含む) |
| | 電 気 電 子 工 学 コ ー ス | 英語, 数学 | 面接(電気電子工学の専門教育科目の基礎の試問を含む) |
| | 人 間 情 報 工 学 コ ー ス | 英語, 数学 | 面接(人間情報工学専門の試問を含む) |
| シ ス テ ム デ ザ イ ン 工 学 科 | 機 械 工 学 コ ー ス | 英語, 数学 | 面接(機械工学の専門教育科目の基礎の試問を含む) |
| | 土 木 環 境 工 学 コ ー ス | 英語, 数学 | 面接(土木環境工学専門教育科目の基礎の試問を含む) |

◎配点

| 学 科 名 | コ ー ス 名 | 一 般 入 試 | | | 計 |
|--------------------------|-----------|---------|-----|--------|-----|
| | | 一般教育科目等 | | 専門教育科目 | |
| | | 英 語 | 数 学 | 面接試問 | |
| 物 質 科 学 科 | 応用化学コース | 100 | 100 | 200 | 400 |
| | 材料理工学コース | | | | |
| 数 理 ・ 電 気 電 子 情 報 学 科 | 数理科学コース | | | | |
| | 電気電子工学コース | | | | |
| | 人間情報工学コース | | | | |
| システムデザイン 工 学 科 | 機械工学コース | | | | |
| | 土木環境工学コース | | | | |

5. 学力検査および面接試問の日程等

(1) 学力検査および面接試問の日程

| コース | 日 時 | 令和6年6月17日(月) | |
|-----------|-----|---------------|---------|
| | | 10:45 ~ 11:45 | 13:00 ~ |
| 応用化学コース | 数 学 | | 面接試問 |
| 材料理工学コース | | | 面接試問 |
| 数理科学コース | | | 面接試問 |
| 電気電子工学コース | | | 面接試問 |
| 人間情報工学コース | | | 面接試問 |
| 機械工学コース | | | 面接試問 |
| 土木環境工学コース | | | 面接試問 |

英語は筆記試験を行わず、TOEIC®のスコアにより評価します。

(2) 試験場

秋田大学理工学部（秋田市手形学園町1番1号）

(3) 受験票の持参・提示

試験当日は、受験票を忘れずに持参し、試験時間中は机の上に置いてください。

受験票が6月13日(木)まで届いていない場合、入試課へ速やかに連絡してください。

6. 受験上の注意事項

- (1) 受験者は、試験開始時刻の15分前までに指定された試験室に入ってください。
- (2) 遅刻限度は、試験開始後10分までです。また、その場合でも試験時間の延長は認めません。
- (3) 試験室ではすべて試験監督者の指示に従ってください。
- (4) 試験時において、定規、電卓、コンパスの使用は認めません。

7. 合格者の発表

令和6年7月8日(月)15時(予定)秋田大学ホームページ内「入試情報」に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書および入学手続き書類を送付します。

注) 電話等による照会には一切応じません。

8. 編入学試験問題の公表について

前年度問題に限り、希望者に配付または郵送を行っています。請求方法は、秋田大学理工学部ホームページ (<https://www.riko.akita-u.ac.jp>) をご覧ください。

また、学校長経由で申し込まれた場合には過去3年間の問題を郵送します。

Ⅲ 推 薦 入 試 (推薦による入学者選抜)

1. 募集コースおよび募集人員ならびに対応学科

| 学 科 | コース | 募集人員 | 3年次編入学対応学科 |
|--------------------|-----------|------|--------------------------------------|
| 物 質 科 学 科 | 材料理工学コース | 若干名 | 材料関連学科 |
| 数理・電気電子 情 報 学 科 | 電気電子工学コース | 若干名 | 電気工学科, 電子工学科, 電子制御工 学科およびこれらの関連学科 |
| システムデザイン 工 学 科 | 土木環境工学コース | 若干名 | 土木工学科および関連学科 |

- 注) 1. 材料理工学コース志願者は、令和6年4月30日(火)までに必ず入試課へ問い合わせてください。
2. 関連学科と判断し難い場合は、令和6年4月30日(火)までに入試課へ問い合わせてください。
3. 出身学校において修得した単位の全部または一部を各コースに設定された授業科目とみなし、卒業要件の単位として認定しますが、認定される単位数によっては2年間で卒業できない場合があります。

2. 出 願 資 格

高等専門学校または(理工科系)短期大学を令和7年3月卒業見込みの者(令和6年度の途中に卒業を認められる者を含む。)で、学業成績・人物ともに優れ、学(校)長が責任をもって推薦できる者

3. 出 願 手 続

(1) 出願書類等

| 書 類 等 | 摘 要 |
|----------|--|
| ①編入学志願票 | <ul style="list-style-type: none"> ・本学部所定の〔推薦入試用〕志願票に下記により記入してください。 ・受験番号：記入しないでください。 ・氏名(ふりがな)：楷書で記入し、ふりがなを付けてください。 ・生年月日等：生年月日を記入し、男・女いずれかを○で囲んでください。 ・出願資格：出願資格を記入してください。 ・志望コース：志望するコースを記入してください。 ・本人が諸通知を受ける場所 ：合格通知書等を受ける場所を記入してください。 ・上記以外の連絡先 ：保護者等の住所を記入してください。 ・履 歴 (学 歴)：高等学校・高等専門学校入学以降について記入してください。 (職 歴)：職歴がある場合は記入してください。 |
| ②受験票・写真票 | <p>本学部所定の用紙に氏名、志望コースを記入し、写真(正面、上半身、脱帽で出願前3か月以内に撮影したもの)を貼ってください。</p> |

| | |
|---|--|
| <p>③検 定 料 ・ 検定料振替払込受付 証明書貼付台紙</p> | <p>検定料は30,000円です。 本学所定の払込取扱票に志願者本人の氏名その他必要事項を記入し，原則として令和6年4月30日(火)以降出願前までにゆうちょ銀行または郵便局の窓口で振り込んでください。(振込手数料は負担願います) ※ATM(現金自動預け払い機)は使用しないでください。 振込の際に受領する「振替払込受付証明書」を台紙にしっかりと貼ってください。台紙には，氏名，志望コースを記入してください。 出願手続完了後は，いかなる理由があっても既納の検定料は返還しません。 ただし，検定料の払込後に出願しなかった場合は，検定料を返還しますので，原則として令和6年5月13日(月)から5月17日(金)までの間に，経理・調達課出納担当(Tel018-889-2234)に申し出てください。</p> |
| <p>④調 査 書</p> | <p>本学部所定の様式により，在学学(校)長が作成し厳封したもの。 履修中の科目がある場合は，履修中の科目に関する証明書を添付してください。 「成績」および「席次」の欄については，前学年(既卒者の場合は最終学年)における「成績」(例：優，良，可)およびクラス等での「席次」(何人中何位)を記入してください。もし，「成績」および「席次」を算出していない場合は，その理由を記入してください。</p> |
| <p>⑤推 薦 書</p> | <p>本学部所定の様式により，在学学(校)長が記入したもの。</p> |
| <p>⑥宛 名 票</p> | <p>本学部所定の用紙に所要事項を記入してください。</p> |
| <p>⑦受験票等送付用封筒</p> | <p>本学部所定の封筒に，受信場所(住所，氏名，郵便番号)を明記し，344円分の切手を貼ってください。</p> |
| <p>⑧在留資格が明記された 住民票</p> | <p>外国人で現に日本に在留している者は，市区町村長が発行する「在留資格が明記された住民票」を提出してください。</p> |

(2) 出願方法等

1) 出願書類等受付期間

令和6年5月7日(火)～5月10日(金)16時まで(必着)

2) 出願方法

出願書類等は一括し，本要項に添付の出願用封筒に入れて，原則として郵送により提出してください。

3) 出願書類等提出先および入試に関する照会先

秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

電話：018-889-2313 E-mail：nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

4) 出願にあたっての留意事項

- ①出願書類に不備がある場合は、これを受理しません。
- ②受理した出願書類等の返還および記載事項の変更は認めません。

4. 選抜方法

調査書、推薦書および面接試問（志願コースの専門分野に関する試問を含む）の結果を総合して判定します。

5. 面接試問の日程等

(1) 面接試問の日時

令和6年5月20日(月) 13:30～

(2) 試験場

秋田大学理工学部（秋田市手形学園町1番1号）

(3) 受験票の持参・提示

試験当日は、受験票を忘れずに持参し、試験時間中は机の上に置いてください。

受験票が5月16日(木)まで届いていない場合、入試課へ速やかに連絡してください。

6. 合格者の発表

令和6年6月3日(月)15時（予定）秋田大学ホームページ内「入試情報」に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書および入学手続書類を送付します。

注) 電話等による照会には一切応じません。

7. 学力検査の受験

合格しなかった者は、一般入試(学力検査等による入学者選抜)に出願することができます。

この場合の出願手続きについては、本募集要項「Ⅱ 一般入試」(2～7ページ)を参照してください。

Ⅳ 社会人特別入試(1年以上勤務経験のある者を対象とした入学者選抜) 趣 旨

日進月歩の科学技術，産業構造・社会経済の変化や我が国の国際社会で果す役割の重要性の進展に伴いリフレッシュ教育への関心が深まっています。このような社会情勢に呼応し，すでに実社会に出ている社会人・職業人で自己の改革をめざし，より高度の知識・技術を修得しようと志す人を対象に社会人編入学生特別入試を実施して，大学に受け入れ，教育研究の場として門戸を開くことを目的としています。

1. 募集コースおよび募集人員

| 学 科 | コ ー ス | 募 集 人 員 |
|--------------------------|-------------------|---------|
| 物 質 科 学 科 | 応 用 化 学 コ ー ス | 若 干 名 |
| | 材 料 理 工 学 コ ー ス | |
| 数 理・電 気 電 子 情 報 学 科 | 数 理 科 学 コ ー ス | |
| | 電 気 電 子 工 学 コ ー ス | |
| | 人 間 情 報 工 学 コ ー ス | |
| シ ス テ ム デ ザ イ ン 工 学 科 | 機 械 工 学 コ ー ス | |
| | 土 木 環 境 工 学 コ ー ス | |

注) 出身学校において修得した単位の全部または一部を各コースに設定された授業科目とみなし，卒業要件の単位として認定しますが，認定される単位数によっては2年間で卒業できない場合があります。

2. 出 願 資 格

企業等に正規の職員として1年以上勤務した経験のある者または勤務中の者（令和7年3月末で1年以上となる者を含む）で，かつ次のいずれかに該当する者

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 短期大学（理工科系）を卒業した者
- (3) 大学（理工科系）を卒業した者
- (4) 大学（理工科系）に2年以上在学し，64単位以上を修得した者

3. 出願手続

(1) 出願書類等

| 書 類 等 | 摘 要 |
|-------------------------------------|---|
| ①編入学志願票 | <ul style="list-style-type: none"> ・本学部所定の〔社会人特別入試用〕志願票に下記により記入してください。 ・受験番号：記入しないでください。 ・氏名（ふりがな）：楷書で記入し、ふりがなを付けてください。 ・生年月日等：生年月日を記入し、男・女いずれかを○で囲んでください。 ・出願資格：出願資格を記入してください。 ・志望コース：志望するコースを記入してください。 ・本人が諸通知を受ける場所 ：合格通知書等を受ける場所を記入してください。 ・履 歴 書 （学 歴）：高等学校・高等専門学校入学以降について記入してください。 （職 歴）：職歴をすべて記入してください。 |
| ②受験票・写真票 | <p>本学部所定の用紙に所要事項を記入し、写真（正面、上半身、脱帽で出願前3か月以内に撮影したもの）を貼ってください。</p> |
| ③検 定 料 ・ 検定料振替払込受付 証明書貼付台紙 | <p>検定料は30,000円です。</p> <p>本学所定の払込取扱票に志願者本人の氏名その他必要事項を記入し、原則として令和6年5月17日(金)以降出願前までにゆうちょ銀行または郵便局の窓口で振り込んでください。（振込手数料は負担願います）※ATM（現金自動預け払い機）は使用しないでください。</p> <p>振込の際に受領する「振替払込受付証明書」を台紙にしっかりと貼ってください。台紙には、氏名、志望コースを記入してください。</p> <p>出願手続完了後は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しません。</p> <p>ただし、検定料の払込後に出願しなかった場合は、検定料を返還しますので、令和6年6月7日(金)から6月13日(木)までの間に、経理・調達課出納担当（TEL018-889-2234）に申し出てください。</p> |
| ④卒業証明書 | <p>最終学校の卒業証明書を提出してください。</p> |
| ⑤調 査 書 | <p>出身学校所定の様式により、出身学（校）長が作成し厳封したもの。</p> |
| ⑥志望理由書 | <p>本学部所定の用紙に記入してください。</p> |
| ⑦業務報告書 | <p>本学部所定の用紙に業務内容の概要を記入してください。</p> |
| ⑧在職証明書 | <p>様式任意。ただし、在職期間が記入されていることが必要です。</p> |

| | |
|----------------|---|
| ⑨宛 名 票 | 本学部所定の用紙に所要事項を記入してください。 |
| ⑩受験票等送付用封筒 | 本学部所定の封筒に、受信場所（住所、氏名、郵便番号）を明記し、344円分の切手を貼ってください。 |
| ⑪在留資格が明記された住民票 | 外国人で現に日本に在留している者は、市区町村長が発行する「在留資格が明記された住民票」を提出してください。 |

(2) 出願方法等

1) 出願書類等受付期間

令和6年5月31日(金)～6月6日(木)16時まで(必着)

2) 出願方法

出願書類等は一括し、本要項に添付の出願用封筒に入れて、原則として郵送により提出してください。なお、封筒表面に「社会人編入学願書在中」と朱書きしてください。

3) 出願書類等提出先および入試に関する照会先

秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

電話：018-889-2313 E-mail：nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

4) 出願にあたっての留意事項

- ①出願書類に不備がある場合は、これを受理しません。
- ②受理した出願書類等の返還および記載事項の変更は認めません。

4. 選 抜 方 法

書類審査および面接試問の結果を総合して判定します。

面接試問は、業務報告書、志望理由書、基礎学力等について口述試験等を行います。

5. 面接試問の日程等

(1) 面接試問の日時および試験場

| 志 望 コ ー ス | 日 時 | 試 験 場 |
|---|------------------------|--------------------------|
| 応 用 化 学 コ ー ス 材 料 理 工 学 コ ー ス 数 理 科 学 コ ー ス 電 気 電 子 工 学 コ ー ス 人 間 情 報 工 学 コ ー ス 機 械 工 学 コ ー ス 土 木 環 境 工 学 コ ー ス | 令和6年6月17日(月) 13:00～ | 秋田大学理工学部 秋田市手形学園町1番1号 |

6. 合格者の発表

令和6年7月8日(月)15時(予定)秋田大学ホームページ内「入試情報」に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書および入学手続書類を送付します。

注) 電話等による照会には一切応じません。

7. 入学後の取り扱いについて

- (1) 当該所属コースのカリキュラムに従って卒業要件を満たすよう、授業科目・単位を修得しなければなりません。
- (2) 現職のまま入学する者の企業等における身分は、所属する企業等の定めるところによります。

V 共通事項

1. 配慮を必要とする入学志願者の事前相談について

病気・負傷，身体障害および発達障害等の心身の機能の障害（以下，「障害等」という。）により，受験上および修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は，出願に先立ち，本学部所定の用紙に必要事項を記入の上，医師の診断書等を添えて，所定の期日までに入試課に相談してください。日常生活においてごく普通に使用している補聴器，松葉杖，車椅子等を使用して受験する場合や期限後に不慮の事故等により，受験上の配慮が必要となった場合には，速やかに相談してください。

また，障害等の程度によっては，事前の準備が必要となる場合がありますので，本学への出願を迷っている場合でもあらかじめ相談いただき，進路決定等により特別措置が不要となった場合には，その旨を入試課までお知らせください。

なお，事前相談の内容等が合否判定のための資料になることはありません。

○相談先 秋田大学入試課

☎ (018) 889-2313 E-mail : nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

○事前相談の期限

推薦入試 令和6年4月30日(火)

一般入試および社会人特別入試 令和6年5月28日(火)

2. 感染症に関する注意事項

学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症に罹患した場合は，他の受験者等への感染拡大防止の面から，学校保健安全法に準じた取り扱いとし，試験当日までに治癒していない方および出席停止期間を経過していない方は，感染症の種類により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められた場合を除き，原則として受験を認めません。

なお，感染の拡大等により，上記によらず急遽変更する場合は，本学ホームページ (<https://www.akita-u.ac.jp/>) にて連絡します。

3. 入学手続

合格者には入学手続書類を郵送しますので，下記の入学手続期間に入学料を納付するとともに，入学手続書類を郵送により提出してください。

なお，入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は入学を辞退したものとして取り扱います。

(1) 入学手続期間

①推薦入試合格者

令和6年6月11日(火)～6月14日(金) (必着)

②一般入試および社会人特別入試合格者

令和6年7月16日(火)～7月22日(月) (必着)

(2) 納付金

①入学料 282,000円 (予定額)

②授業料 前期分 267,900円 (年額 535,800円) (予定額)

注) 1. 上記納付金は予定額であり、入学時または在学中に改定された場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

2. 授業料は、入学後の4月中に納入していただきます。

3. 納付した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

(3) その他

① 入学料・授業料は高等教育の修学支援新制度に基づいて免除される制度があります。(高等教育の修学支援新制度については、文部科学省および日本学生支援機構のHPを参照してください。) また、経済的理由等により期限までに入学料の納付が困難であると認められる場合には、選考の上、猶予が認められる制度があります。(詳細は入学手続関係書類でお知らせします。)

② 編入学を許可された者には、入学後に編入年次までに修得すべき単位を認定します。詳細は入学関係書類送付時に案内します。

③ 令和6年3月末までに所定の要件を満たす見込みで受験した合格者が、所定の要件を満たすことができなかった場合は、入学を許可しません。

④ 出願書類に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

⑤ 入学手続以外の入学関係書類は、令和7年1月下旬(予定)に送付します。

秋田大学理工学部コース案内

1. 募集するコースの構成

| 学 科 | コ ー ス |
|-----------------------|-------------------|
| 物 質 科 学 科 | 応 用 化 学 コ ー ス |
| | 材 料 理 工 学 コ ー ス |
| 数 理 ・ 電 気 電 子 情 報 学 科 | 数 理 科 学 コ ー ス |
| | 電 気 電 子 工 学 コ ー ス |
| | 人 間 情 報 工 学 コ ー ス |
| シ ス テ ム デ ザ イ ン 工 学 科 | 機 械 工 学 コ ー ス |
| | 土 木 環 境 工 学 コ ー ス |

2. 学部および募集するコースのアドミッション・ポリシー

【理工学部】

◆育てる人間像

理工学の分野においては、人材育成と研究開発の「リージョナルセンター」として、創造力と技術力を兼ね備えた人材を供給するとともに、イノベーション創出により地域産業に更なる発展をもたらすことが期待されています。理工学部では、自ら課題を発見でき、新しい未知の分野の課題に対しても幅広い視野から、柔軟で総合的な判断で課題を解決していける人材を育成します。

●求める人物像

- ① 理工学を学ぶために必要な基礎学力を身につけた人
- ② エネルギー・環境問題、新しいものづくりと物質・デバイス創成、また少子高齢化や自然災害対策などの大きな社会的課題に関心を持ち、積極的に自己学習できる人
- ③ 研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

応用化学コース

●求める人物像

- ① 化学が好きで、探究心が旺盛な人
- ② 化学的現象の解明や自然と調和した未来物質の開発に興味のある人
- ③ 国際的に活躍する化学技術者・研究者を目指す強い意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

《3年次編入学（一般入試）》

理工科系の高等専門学校・短期大学・大学・専修学校の専門課程・高等学校の専攻科の課程を卒業・修了した人またはその見込みの人、大学の理工系学部にて2年以上在学し必要な単位を修得した人またはその見込みの人、または外国において学校教育における14年の課程を修了した人またはその見込みの人で、理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な人を求めます。

そのため、学力検査（TOEIC[®]のスコア、数学）および面接（履修した専門教育科目の基礎の試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《3年次編入学（社会人特別入試）》

すでに実社会において、企業等に1年以上勤務経験のある社会人・職業人で、自己の改革をめざし、より高度の知識・技術を修得しようとする人を求めます。

そのため、面接試問（業務報告書、志望理由書、基礎学力等についての口述試験等）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

材料理工学コース

●求める人物像

- ① 物理や化学が好きで、探求心が旺盛な人
- ② 金属、半導体、セラミックスを利用した、機械・構造材料、磁性材料、電子・光学材料、センサー材料、環境・新エネルギー材料に興味がある人
- ③ 発展する科学技術の基礎となる様々な材料の研究と開発を行う技術者や研究者を目指す人

●入学者選抜の基本方針

《3年次編入学（推薦入試）》

理工科系の高等専門学校または短期大学を卒業見込みの人で、理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲を持ち、学業成績・人物ともに優れ、学（校）長が責任をもって推薦できる人を求めます。

そのため、推薦書と調査書を参考資料として面接試問を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。

《3年次編入学（一般入試）》

理工科系の高等専門学校・短期大学・大学・専修学校の専門課程・高等学校の専攻科の課程を卒業・修了した人またはその見込みの人、大学の理工系学部で2年以上在学し必要な単位を修得した人またはその見込みの人、または外国において学校教育における14年の課程を修了した人またはその見込みの人で、理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な人を求めます。

そのため、学力検査（TOEIC[®]のスコア、数学）および面接（材料理工学専門の試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《3年次編入学（社会人特別入試）》

すでに実社会において、企業等に1年以上勤務経験のある社会人・職業人で、自己の改革をめざし、より高度の知識・技術を修得しようとする人を求めます。

そのため、面接試問（業務報告書、志望理由書、基礎学力等についての口述試験等）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

数理科学コース

●求める人物像

- ① 数学、物理学、計算機科学に興味を持ち深く学んでみたい人
- ② 論理的かつ客観的な視点で粘り強く考えることが好きな人
- ③ 自然の原理や仕組みについて考えたり話したりすることを楽しく感じる人

●入学者選抜の基本方針

《3年次編入学（一般入試）》

理工科系または数理科学の応用系の高等専門学校・短期大学・大学・専修学校の専門課程・高等学校の専攻科の課程を卒業・修了した人またはその見込みの人、大学の理工系学部または数理科学の応用を行う学部学科等に2年以上在学し必要な単位を修得した人またはその見込みの人、または外国において学校教育における14年の課程を修了した人またはその見込みの人で、数理科学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な人を求めます。

そのため、学力検査（TOEIC[®]のスコア、数学）および面接（数理科学専門の試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《3年次編入学（社会人特別入試）》

すでに実社会において、企業等に1年以上勤務経験のある社会人・職業人で、自己の改革をめざし、より高度の知識・技術を修得しようとする人を求めます。

そのため、面接試問（業務報告書、志望理由書、基礎学力等についての口述試験等）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

電気電子工学コース

●求める人物像

- ① 数学や物理が好きで、ものやシステムの原理や仕組みを論理的に思考・理解しようとする人
- ② 環境に調和した電気エネルギー、創意や工夫にあふれる光・電子デバイス、人にやさしく知的な情報通信や医療機器、社会の基盤を支えるコンピュータや制御システムなどに興味のある人
- ③ 創造性を発揮して国際的に活躍する最先端のエレクトロニクス技術者や研究者を目指す意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

《3年次編入学（推薦入試）》

理工科系の高等専門学校または短期大学を卒業見込みの人で、理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲を持ち、学業成績・人物ともに優れ、学（校）長が責任をもって推薦できる人を求めます。

そのため、推薦書と調査書を参考資料として面接試問を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。

《3年次編入学（一般入試）》

理工科系の高等専門学校・短期大学・大学・専修学校の専門課程・高等学校の専攻科の

課程を卒業・修了した人またはその見込みの人、大学の理工系学部にて2年以上在学し必要な単位を修得した人またはその見込みの人、または外国において学校教育における14年の課程を修了した人またはその見込みの人で、理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な人を求めます。

そのため、学力検査（TOEIC[®]のスコア、数学）および面接（電気電子工学の専門教育科目の基礎の試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《3年次編入学（社会人特別入試）》

すでに実社会において、企業等に1年以上勤務経験のある社会人・職業人で、自己の改革をめざし、より高度の知識・技術を修得しようとする人を求めます。

そのため、面接試問（業務報告書、志望理由書、基礎学力等についての口述試験等）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

人間情報工学コース

●求める人物像

- ① 感性が豊かで、論理的思考に習熟し、対象を広く、また深く理解しようとする人
- ② ヒトとコンピュータとの調和に配慮した高度な情報通信技術（ICT）に興味がある人
- ③ 日進月歩の高度情報化社会に貢献する技術者や研究者を目指す意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

《3年次編入学（一般入試）》

理工科系の高等専門学校・短期大学・大学・専修学校の専門課程・高等学校の専攻科の課程を卒業・修了した人またはその見込みの人、大学の理工系学部にて2年以上在学し必要な単位を修得した人またはその見込みの人、または外国において学校教育における14年の課程を修了した人またはその見込みの人で、理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な人を求めます。

そのため、学力検査（TOEIC[®]のスコア、数学）および面接（人間情報工学専門の試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《3年次編入学（社会人特別入試）》

すでに実社会において、企業等に1年以上勤務経験のある社会人・職業人で、自己の改革をめざし、より高度の知識・技術を修得しようとする人を求めます。

そのため、面接試問（業務報告書、志望理由書、基礎学力等についての口述試験等）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し、選抜します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

機械工学コース

●求める人物像

- ① 数学や物理が好きで学習意欲があり，工学の基礎学力を高めたい人
- ② 設計，力学，制御を学び，ものづくりによりエンジニアの素養を得たい人
- ③ 持続的社會形成の必要性を理解し，創造的な機械開発にチャレンジしたい人

●入学者選抜の基本方針

《3年次編入学（一般入試）》

理工科系の高等専門学校・短期大学・大学・専修学校の専門課程・高等学校の専攻科の課程を卒業・修了した人またはその見込みの人，大学の理工系学部にて2年以上在学し必要な単位を修得した人またはその見込みの人，または外国において学校教育における14年の課程を修了した人またはその見込みの人で，理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な人を求めます。

そのため，学力検査（TOEIC[®]のスコア，数学）および面接（機械工学の専門教育科目の基礎の試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し，選抜します。なお，提出書類を面接の参考資料とします。

《3年次編入学（社会人特別入試）》

すでに実社会において，企業等に1年以上勤務経験のある社会人・職業人で，自己の改革をめざし，より高度の知識・技術を修得しようとする人を求めます。

そのため，面接試問（業務報告書，志望理由書，基礎学力等についての口述試験等）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し，選抜します。なお，提出書類を面接の参考資料とします。

土木環境工学コース

●求める人物像

- ① 数学や物理などの自然科学の知識を社会基盤の整備と発展に活かしたい人
- ② すべての人が安心して生活できる社会基盤をつくるには，どうすればよいのかに興味がある人
- ③ 自然環境と人間環境が調和した社会基盤の整備と発展に役立ちたい人

●入学者選抜の基本方針

《3年次編入学（推薦入試）》

理工科系の高等専門学校または短期大学を卒業見込みの人で，理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲を持ち，学業成績・人物ともに優れ，学（校）長が責任をもって推薦できる人を求めます。

そのため，推薦書と調査書を参考資料として面接試問を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し，選抜します。

《3年次編入学（一般入試）》

理工科系の高等専門学校・短期大学・大学・専修学校の専門課程・高等学校の専攻科の課程を卒業・修了した人またはその見込みの人，大学の理工系学部で2年以上在学し必要な単位を修得した人またはその見込みの人，または外国において学校教育における14年の課程を修了した人またはその見込みの人で，理学や工学の関連分野におけるさらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な人を求めます。

そのため，学力検査（TOEIC[®]のスコア，数学）および面接（土木環境工学に関する基礎の試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し，選抜します。なお，提出書類を面接の参考資料とします。

《3年次編入学（社会人特別入試）》

すでに実社会において，企業等に1年以上勤務経験のある社会人・職業人で，自己の改革をめざし，より高度の知識・技術を修得しようとする人を求めます。

そのため，面接試問（業務報告書，志望理由書，基礎学力等についての口述試験等）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価し，選抜します。なお，提出書類を面接の参考資料とします。